

— 笠間市合併20周年記念事業 — 記念銅像「希望の灯」の除幕式を行います

笠間市は、平成18年3月19日に1市2町が合併し、令和8年3月19日に20周年を迎えます。市民とともに20年の歩みを振り返り、未来へ進んでいくため、今年度(令和7年度)を20周年イヤーと位置づけ、さまざまな記念事業を行っています。

この度、記念事業のひとつとして、日本藝術院会員で日本を代表する郷土の彫刻家である能島 征二(のうじま せいじ)さん制作による銅像を設置することとなりました。

つきましては、以下のとおり除幕式を執り行いますので、ぜひ当日の取材をお願いいたします。

■ 笠間市合併20周年記念銅像「希望の灯」除幕式

- ・ 日 時 6月16日(月) 午前9時から
- ・ 場 所 笠間市役所 本所 入口ロビー (笠間市中央3-2-1)
- ・ 出席者
笠間市長 山口 伸樹
笠間市議会 議長 畑岡 洋二
彫刻家 能島 征二
県立笠間高等学校 榎本 羽那
(合併20周年ロゴデザイン創作者)
ほか

- ・ 銅像名 きぼう あかり
「希望の灯」



(左から、山口市長、能島さん)
市への彫刻寄贈時に感謝状を贈呈した際の様子